

2016年3月期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社 マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2016年5月9日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2016年5月9日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



- I .2016年3月期第4四半期の決算及び事業の概況
- II .2016年3月期第4四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2016年3月期第4四半期の決算及び事業の概況





2016年3月期第4四半期 連結決算ハイライト

2016年3月期第4四半期(2016/1-3) 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数は、年初からマイナンバーの取得が義務化された影響等により増加ペースがダウンしたものの、預り証拠金はBtoB先金融法人からの預け入れ増加により大幅増加。

総口座数	275,538口座	2016/3期3Q末比	1.5%増
預り証拠金	59,769百万円	2016/3期3Q末比	20.8%増

- ② 外国為替取引高は、前四半期と比較しボラティリティが大きく回復した結果、前四半期比35.1%増加。

1-3月取引高	2,588億通貨単位	2015/10-12月比	35.1%増
---------	------------	--------------	--------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高の大幅な増加の結果、前四半期比23.8%増の1,661百万円に。これにつれて経常利益も前四半期比60.5%増の418百万円を計上し、前四半期比増収増益に。

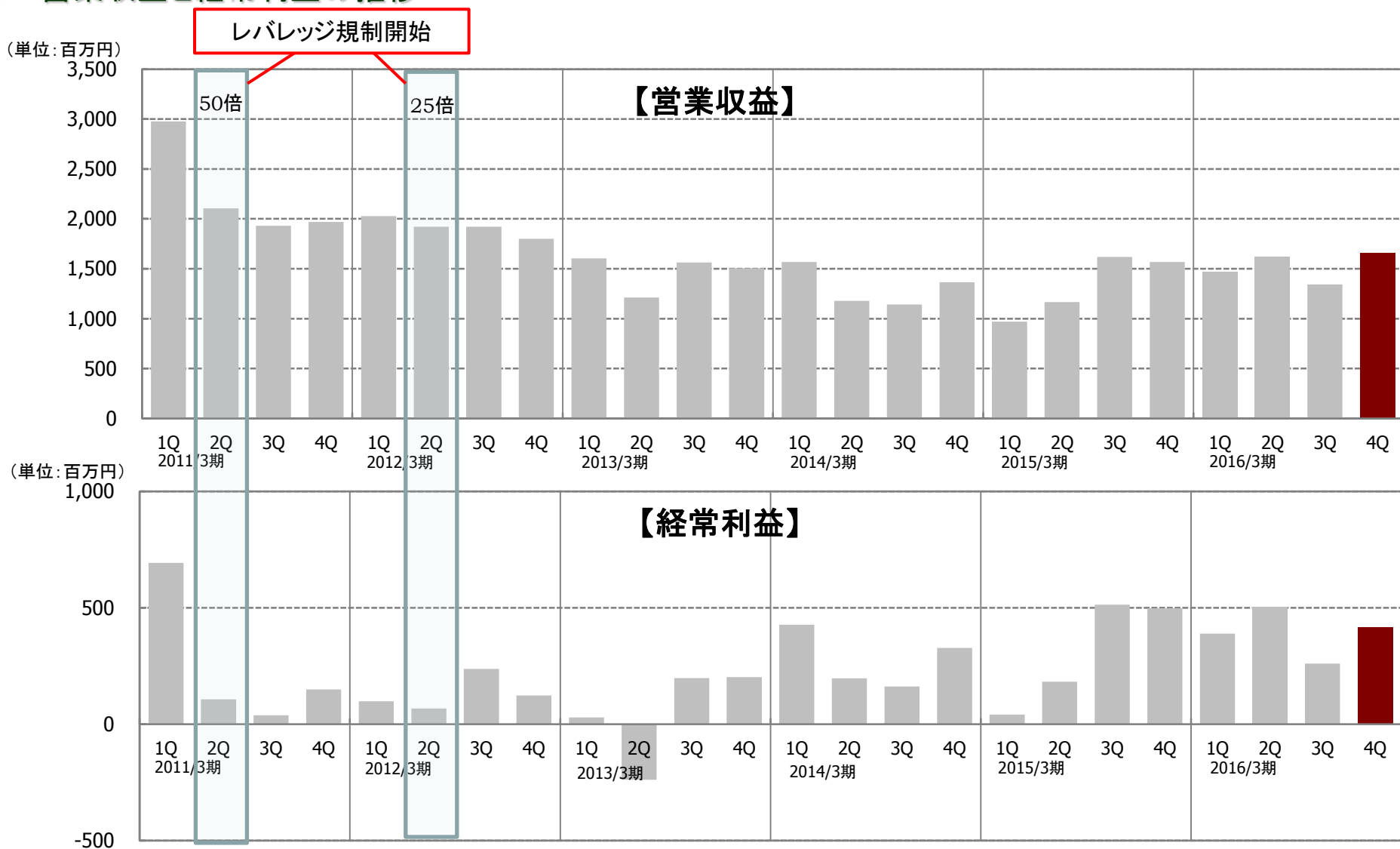
- ④ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産除却による特別損失11百万円の計上があり、前四半期比52.6%増の263百万円に。



レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

■ 営業収益と経常利益の推移





2016年3月期第4四半期 決算概況と影響ファクター

Money Partners Group

	2016/3期 3Q 【2015/10 ~ 2015/12】	2016/3期 4Q 【2016/1 ~ 2016/3】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	1,915億通貨単位	2,588億通貨単位	35.1%
営業収益	1,342百万円	1,661百万円	23.8%
経常利益	260百万円	418百万円	60.5%

【損益影響ファクター】

前四半期比

取引高 

収益性 

販管費 

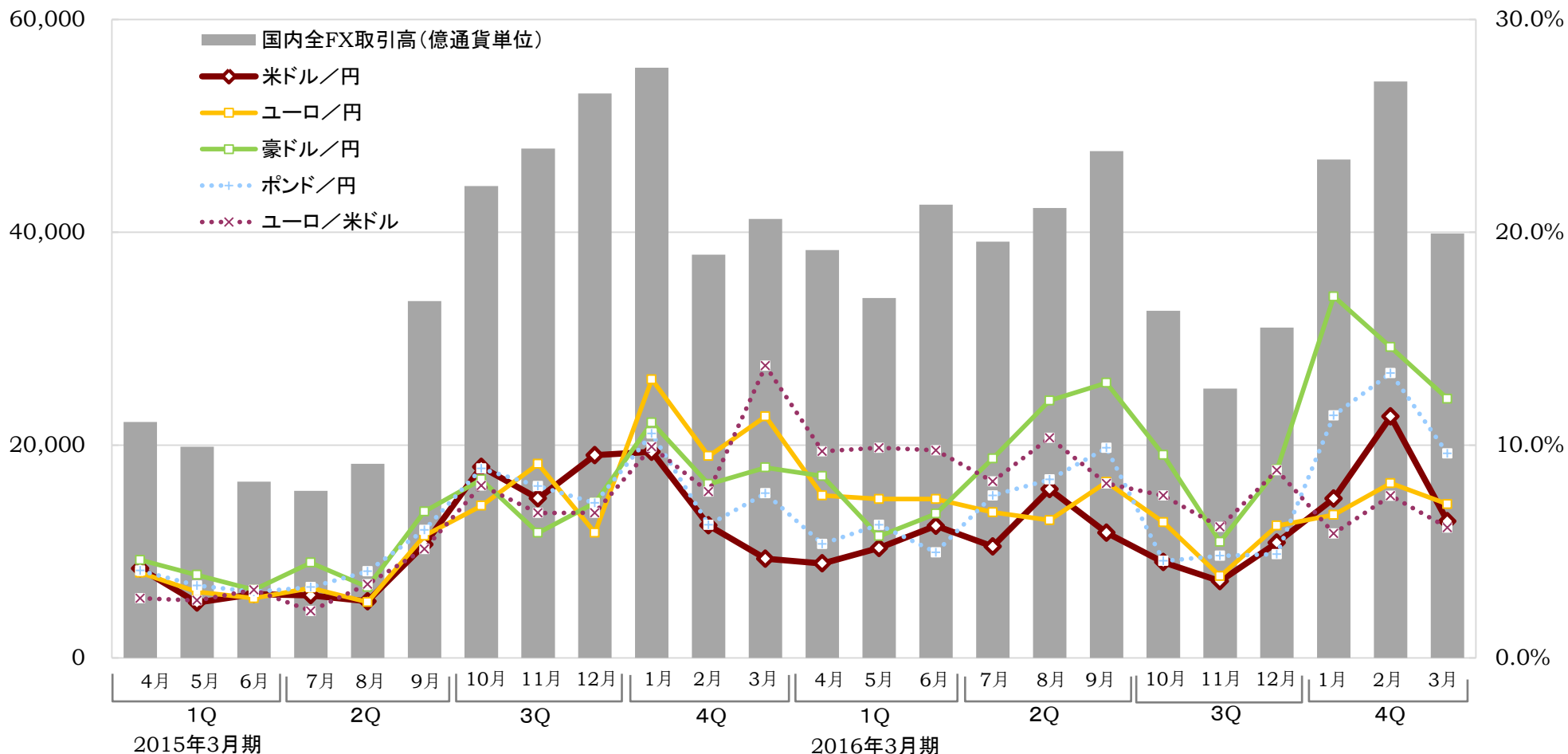
- ・ 外国為替相場は、前四半期からボラティリティが回復し、取引高は前四半期比35.1%増と大きく増加。
通貨別に見ると、米ドル／円は前四半期比50%程度増加し、全体に占める割合は60%に。一方、ユーロ／円、ユーロ／米ドルが前四半期比減少。
その他の通貨では、豪ドル／円が、ボラティリティの拡大に伴い大きく増加。
- ・ 全体に占める米ドル／円の割合の増加や為替相場急変動に伴うカバースプレッドの拡大等に伴い、全体の収益性は低下。
- ・ 取引高の増加に伴う変動費の増加や一時的費用の増加等により、販管費全体は増加。



FX市場の動向

Money Partners Group

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



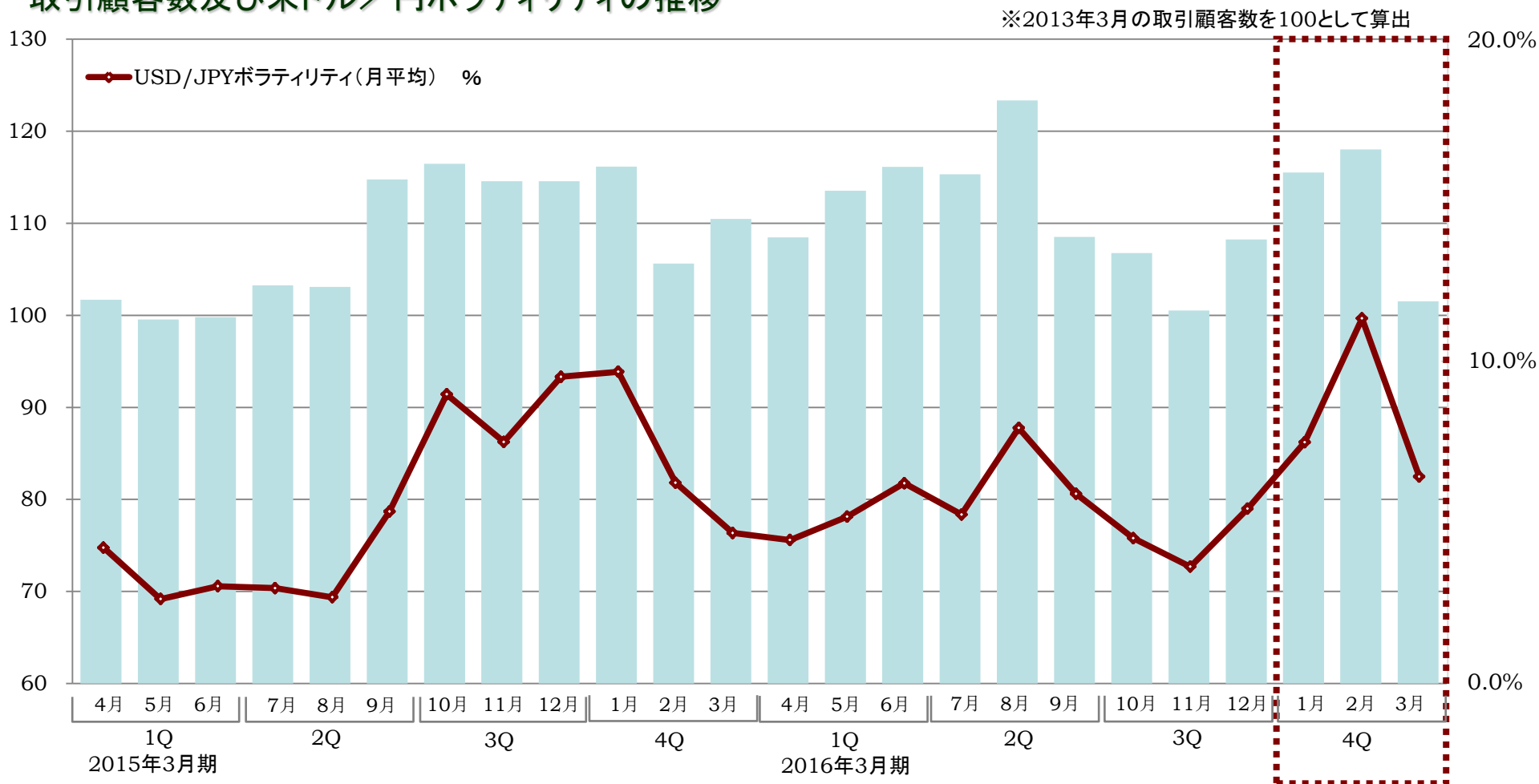
米ドル/円が2月初頭より急激な円高が進展するなど外国為替相場は大荒れの展開となり、四半期を通じてのボラティリティは、前四半期比大きく回復。取引高も概ねボラティリティの状況に連動し、前四半期比増加。



取引顧客数の推移

Money Partners Group

取引顧客数及び米ドル／円ボラティリティの推移



米ドル／円は、2015年11月以降円高トレンドにて推移。取引顧客数は、ボラティリティの高まりに応じて増加するも、顧客損益の悪化がリスク許容度を低下させ、足元の取引顧客数に悪影響を及ぼしている。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2015/3期				2016/3期				前四半期 対比増減
	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	
営業収益	969	1,167	1,618	1,568	1,471	1,621	1,342	1,661	23.8%
受入手数料	2	2	4	4	5	15	14	19	40.0%
トレーディング損益	963	1,155	1,601	1,554	1,451	1,586	1,306	1,617	23.8%
金融収益	2	3	3	3	3	3	3	4	25.1%
その他の売上高	0	6	9	6	10	15	18	19	5.6%
金融費用	18	18	18	19	20	23	23	27	19.4%
売上原価	0	0	0	0	2	7	10	8	▲20.1%
純営業収益	950	1,149	1,599	1,548	1,448	1,590	1,308	1,624	24.2%
販売費・一般管理費	912	981	1,086	1,075	1,067	1,121	1,049	1,209	15.2%
営業利益	38	167	512	473	381	468	258	415	60.8%
経常利益	41	182	513	498	389	505	260	418	60.5%
税金等調整前四半期純利益	41	178	505	498	389	505	261	406	55.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	21	117	325	314	254	334	173	263	52.6%
営業収益経常利益率	4.3%	15.6%	31.8%	31.7%	26.5%	31.1%	19.4%	25.2%	

外国為替取引高の増加に伴い、営業収益は前四半期比大きく増加し、2012/3期4Q以来の高い水準となる。また、金額は僅少なながらもマネパカードの増加に伴い受入手数料も着実に増加。一方、後述のとおり一時的コストの発生により販管費は増加し、営業利益、経常利益は前四半期比60%の増加にとどまる。親会社株主に帰属する四半期純利益は263百万円に。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位:百万円

	2015/3期				2016/3期				前四半期 対比増減
	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (10月~12月)	
取引関係費	214	249	311	296	298	333	292	349	19.5%
人件費	225	233	246	245	235	245	239	257	7.5%
不動産関係費	154	161	156	158	156	155	165	181	9.6%
事務費	189	213	249	244	243	256	228	281	23.1%
減価償却費	94	94	95	96	91	89	89	99	10.8%
租税公課	15	18	17	21	21	24	23	30	29.6%
貸倒引当金繰入れ	—	—	—	—	0	6	▲0	▲0	—
その他	17	10	10	13	20	10	12	10	▲17.2%
販売費・一般管理費合計	912	981	1,086	1,075	1,067	1,121	1,049	1,209	15.2%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	91	113	132	118	122	141	106	105	▲0.9%
システム関連費用(※2)	247	285	332	330	319	343	318	385	20.9%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

<主な増加要因>

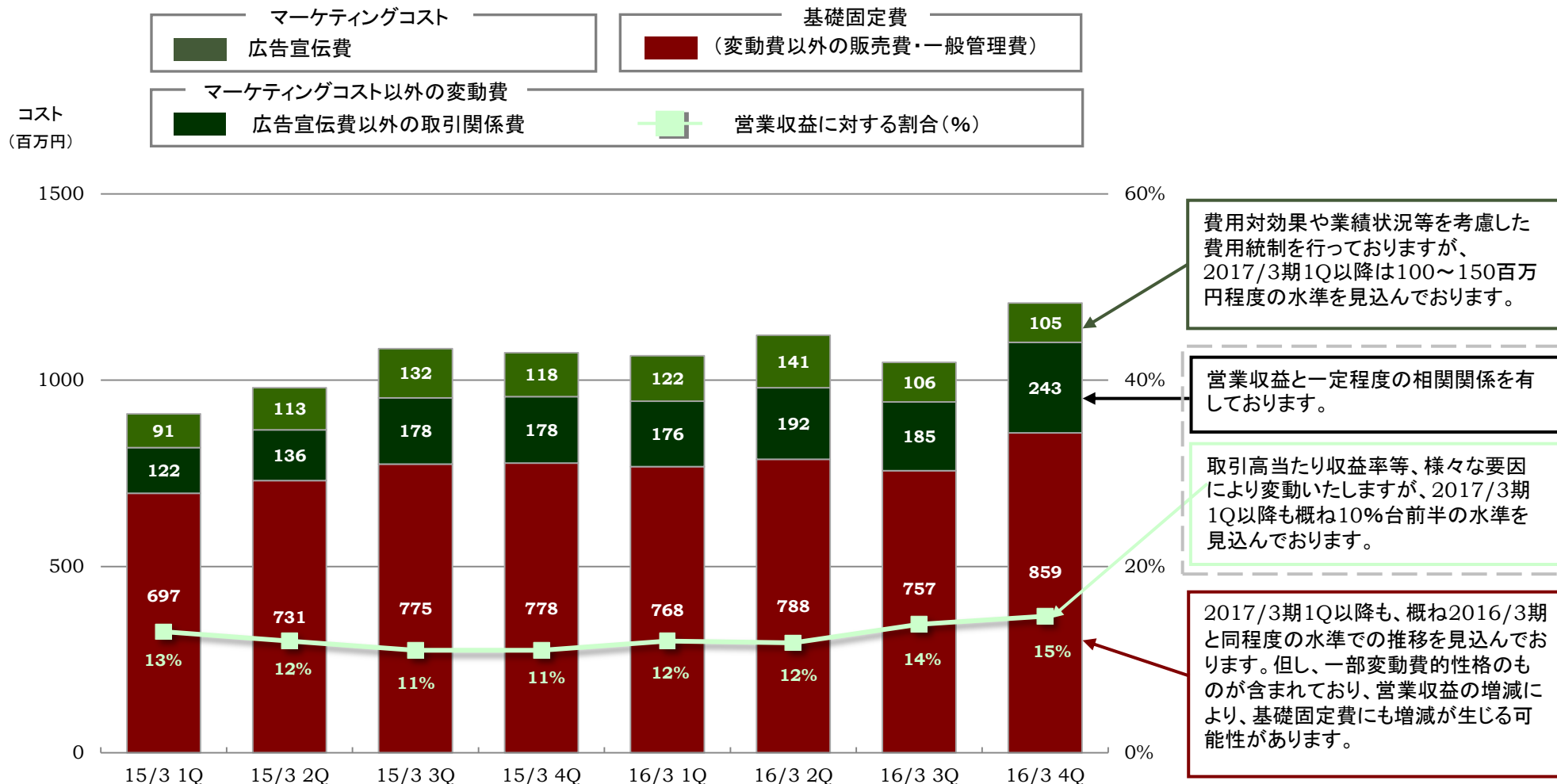
取引関係費:カバー取引を更に安定的に行うためにカバー先からの与信枠を増加したことに伴う初期費用の発生。人件費:業績連動型賞与・報酬の計上による増加。不動産関係費:マイナンバー対応やサーバーリプレースに伴う器具備品費の増加。事務費:サーバーリプレースに伴う事務委託費の増加。



四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

■ 主要な固定費・変動費の推移



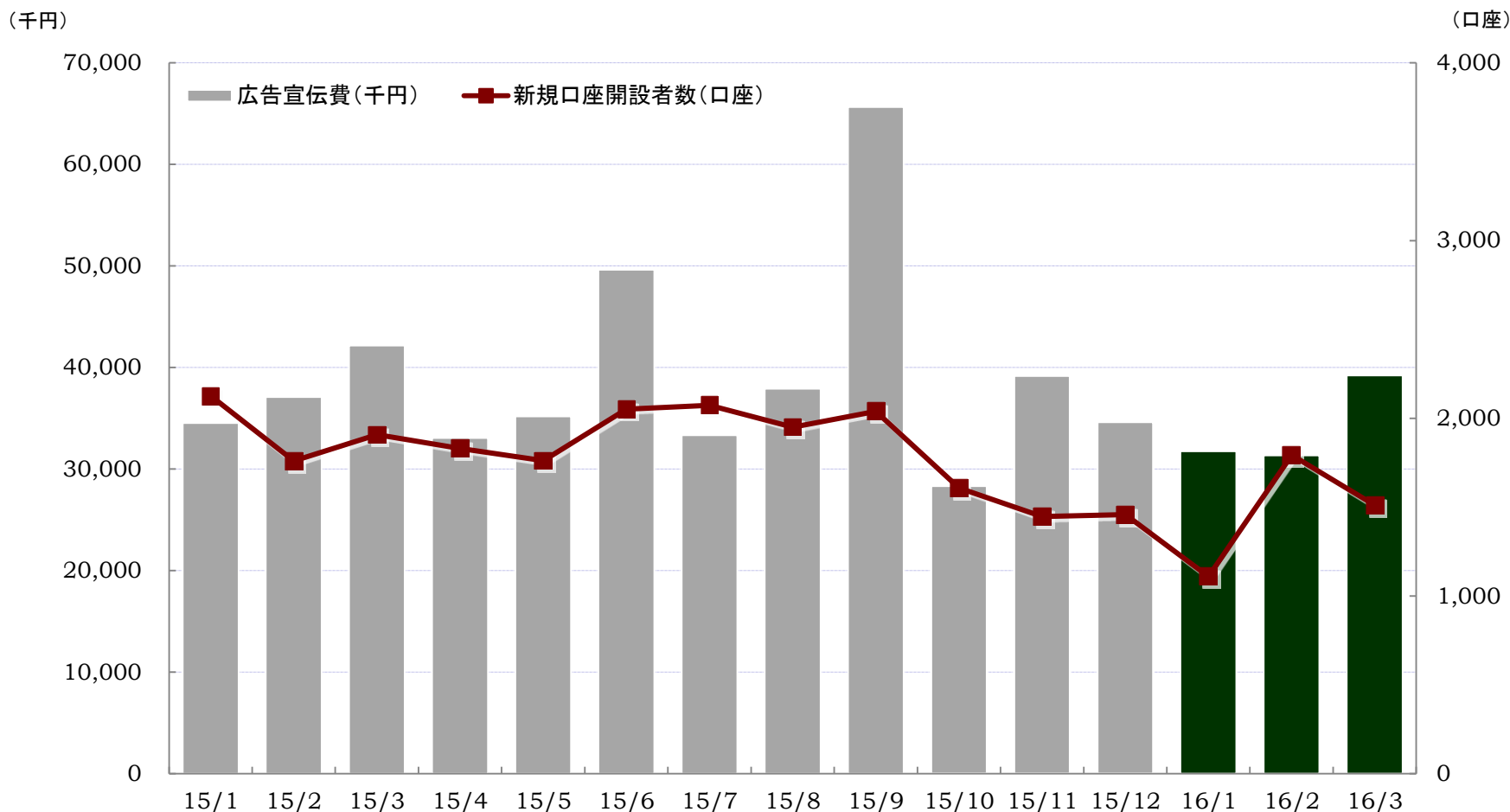
2016/3期4Qの固定費、変動費は、ともに一時的費用により増加。2017/3期以降は、一旦2016/3期1～3Qの水準に戻り、マネパカードの増加等につれ緩やかな増加傾向で推移する見込み。



月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



広告宣伝費の水準は、ほぼ前四半期並みで推移。一方、新規口座開設者数は、2016年1月よりマイナンバーの取得が義務化されたこと等により前四半期に続き低調に推移。



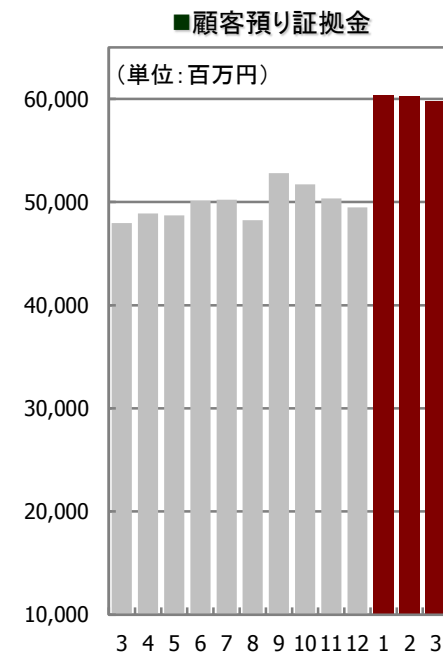
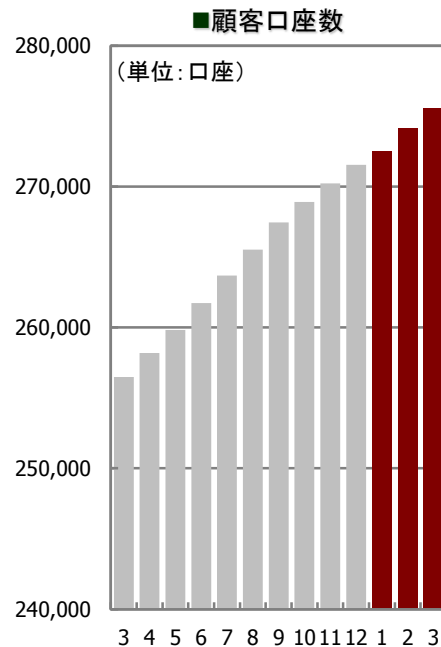
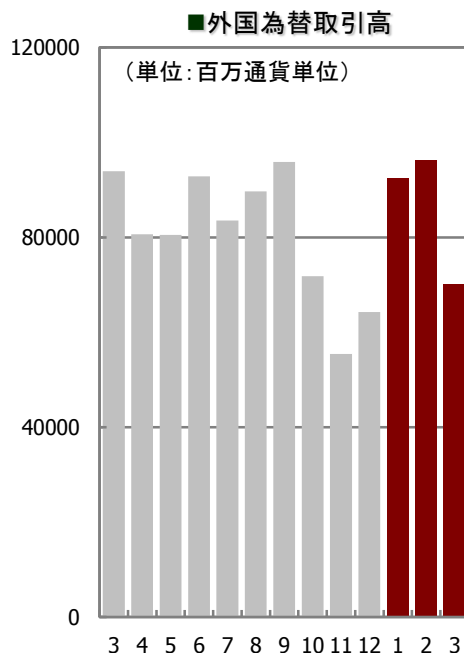
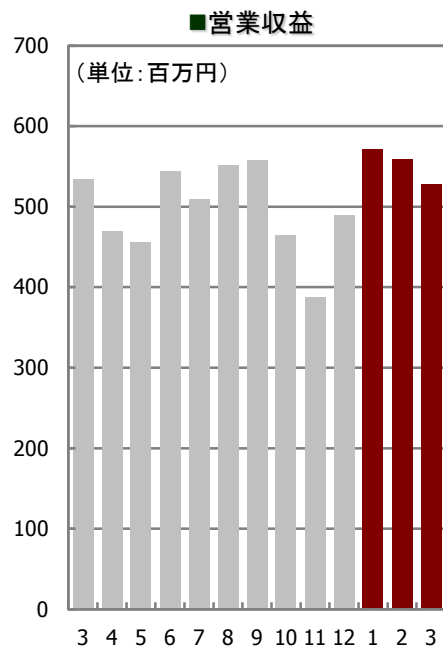
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2015年										2016年		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益(百万円)	534	470	456	544	510	552	552	464	387	490	572	559	528
外国為替取引高 (百万通貨単位)	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674	95,887	71,822	55,460	64,288	92,445	96,278	70,156
顧客口座数(口座)	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521	267,463	268,916	270,219	271,544	272,521	274,164	275,538
顧客預り証拠金(百万円)	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253	52,815	51,725	50,355	49,480	60,316	60,224	59,769
内、BtoB先金融法人	(金額僅少につき記載を省略しております)										11,072	12,274	11,373

※営業収益、取引高は、大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。また、それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



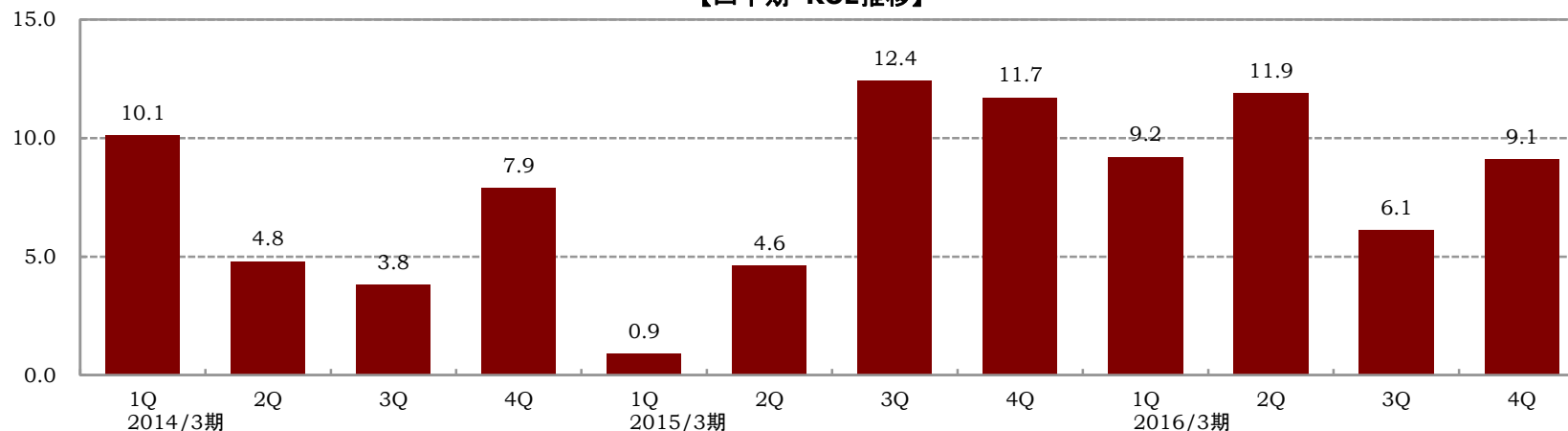


主要経営指標推移

Money Partners Group

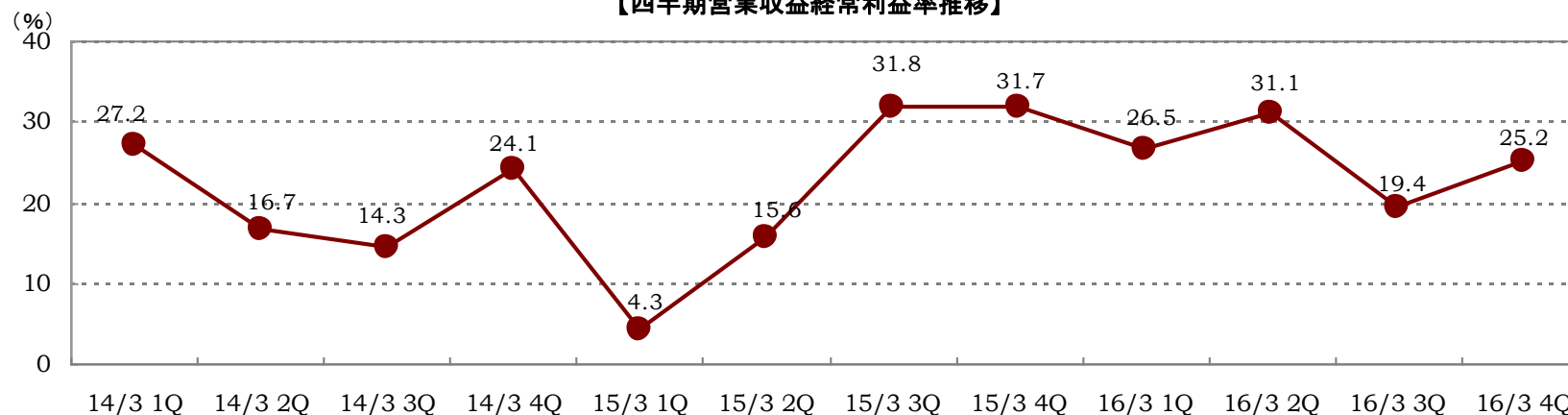
■ ROE及び営業収益経常利益率推移

【四半期 ROE推移】



※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

【四半期営業収益経常利益率推移】



Ⅱ.2016年3月期第4四半期の重点施策の進捗状況





2016年3月期の重点施策

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

新たなビジネス・
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- 収益基盤の多様化とFX収益率の更なる向上

実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

収益

- ★ 収益性の継続的改善



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

FX



「提示価格での約定率」ランキング

スリッページ設定「1pip」の場合

順位	業者	スリッページ発生率	約定拒否発生率	提示価格での約定率(%)
1	マネーパートナーズ	0.0%	0.0%	100.0%
2	A社	2.5%	1.0%	96.5%
3	B社	5.0%	0.0%	95.0%
4	C社	21.0%	0.0%	79.0%
5	D社	27.5%	0.0%	72.5%
6	E社	32.0%	0.0%	68.0%
7	F社	45.0%	0.0%	55.0%

※提示価格での約定率・・・注文したレートからスリッページ・約定拒否が発生せずに約定した割合

高い品質のFXサービスを継続して提供

継続的なFX取引ツールの改善

PC・タブレット向け取引ツール「クイック発注ボード」の照会機能をお客様からの声を反映して改善



顧客利便性の継続的向上



重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

ビットコイン

ビットコイン参考レートを表示

1月18日より、Payward Inc.の運営するビットコイン取引所「Kraken」からの提供を受け、マネーパートナーズホームページにビットコイン参考レートの表示を開始いたしました。



Payward Inc.との出資の合意

3月31日、Payward Inc.と、当社が日本におけるビジネスを推進するための資本強化を目的として、当社が同社へ出資することについて合意いたしました。

なお、4月28日付けで上記合意は、当社が同社へ転換貸付を行い、同社の資本調達タイミングで株式に転換する内容に変更しており、5月2日当該貸付を実行しております。

マネパカード

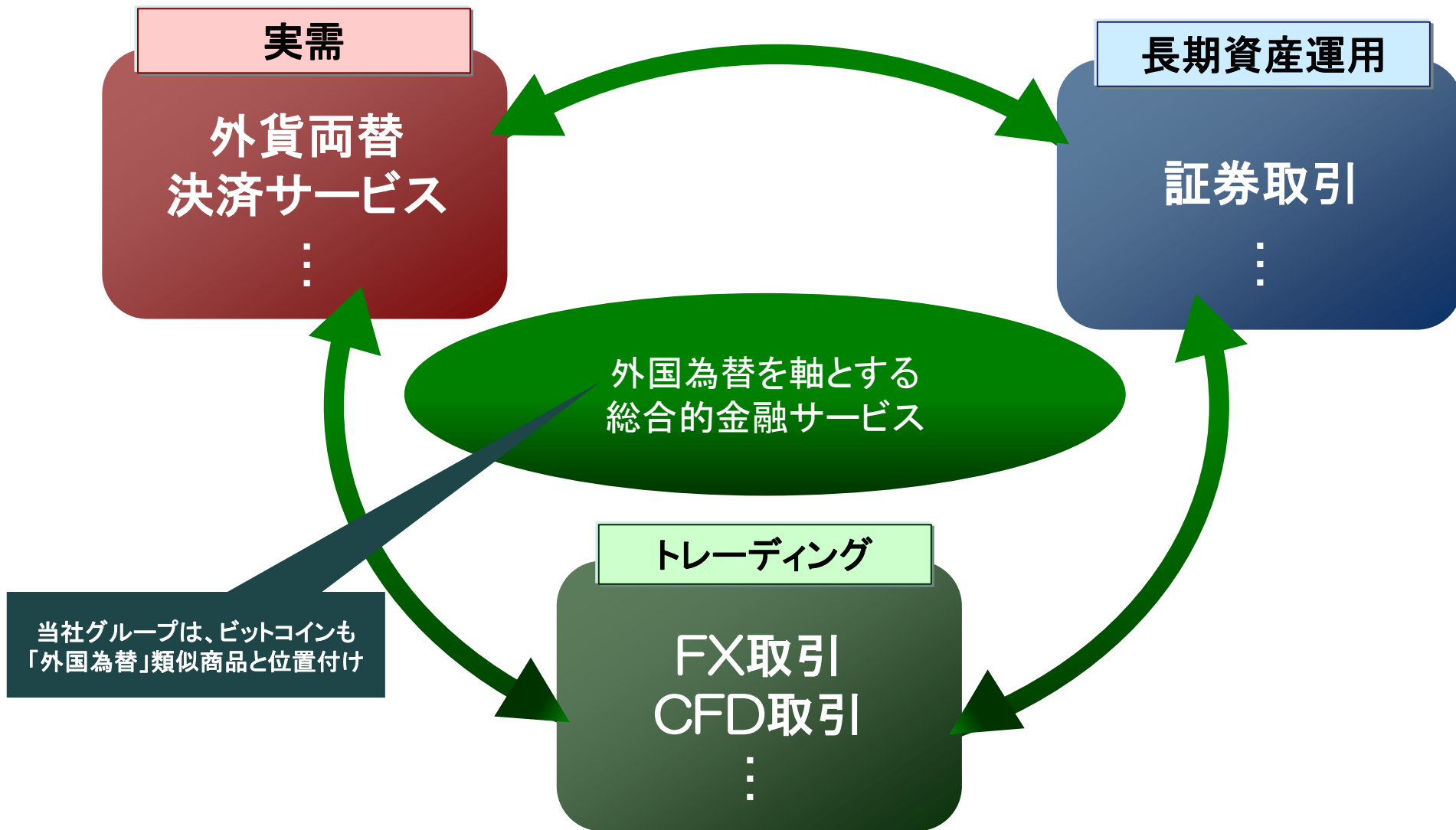
大和ネクスト銀行との提携サービス開始

3月28日より、株式会社大和ネクスト銀行と提携し、同行の外貨普通預金にある外貨をマネーパートナーズの発行する複数通貨対応プリペイドカード「DAIWA SMART DEPOSIT」に直接チャージして利用できるサービスを開始いたしました。



Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





IV. 当社の経営目標及び株主還元について





● 当社の経営目標

ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2016年3月期第4四半期(2016年1～3月)のROEは9.1%**

※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2016年3月期第4四半期(2016年1～3月)の営業収益経常利益率は25.2%**



●株主還元について

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末** (年2回)

	2015年3月期				2016年3月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
当期純利益(百万円)	21	117	325	314	254	334	173	263	
上段:3ヶ月	21	117	325	314	254	334	173	263	
下段:累計	21	139	465	780	254	588	761	1,025	
配当金の総額 (百万円)	45		197		168		169(予想)		
期末発行済 株式総数(株)	32,241,000 (内、自己株式2,002,300)		32,459,900 (内、自己株式2,002,300)		32,616,900 (内、自己株式2,002,300)		32,795,900 (内、自己株式2,002,300)		
1株当たり 配当金	中間・期末	1.5円		6.5円		5.5円		5.5円(予想)	
	年間	8円				11円(予想)			



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の1%以上の額で、証拠金の約100倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会
一般社団法人日本資金決済業協会

2016年3月期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社 マネーパートナーズグループ